

Istanbul Weekly vol.2-no.2

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2013年1月18日（金）

— 今週のポイント —

1. 政治：PKK を巡る動き：PKK 女性幹部 3 名、パリで暗殺される。
シリア情勢関連：国際支援は不十分。
2. 軍事：パトリオットミサイル、2 月初旬から運用開始予定。
徴兵免除法案、国会国防委員会で可決。
3. 経済：輸出企業に対して税関の権限付与へ。
【今週のコラム】 トルコに原発は必要か？
4. 治安：パイラムパシャ市において爆弾未遂事件発生。
マルディン県にて警察の家宅捜索中に発生した銃撃戦により PKK 幹部死亡。
5. 社会：宮殿などへの観光客誘致。
女性は「愛」ではなく「お金」を希望。

1. 政治

●PKK を巡る動き

(1) PKK 女性メンバー 3 名、パリで暗殺
9 日、PKK 女性幹部 3 名（内、サキネ・ジャンズ（PKK 創設者の一人）、フィダン・ドアン、レイラ・ソイレメズ）が、パリのクルド情報事務所で暗殺された。（各紙）

(2) BDP 党首ら、パリ追悼訪問
PKK 女性幹部暗殺事件後の 11 日、デミルタシュ BDP 党首は他議員らとともにパリを訪問し、「フランス政府がこの暗殺事件を解決しない状況にあるとすれば、（現在進行中のトルコ政府と PKK 間の）和平プロセスを希望していないという意味になる」と発言。（1 月 11 日付 R 紙）

(3) CHP 党首、仏政府の責任言及
クルチダルオール CHP 党首は、暗殺事件の真の責任はフランス政府にあり、同事件によって和平プロセスが妨げられてはいけないと述べた。（1 月 14 日付 H 紙）

(4) MHP 党首、与党批判
（エルドアン首相が、オランダ仏大統領が、暗殺された PKK 女性幹部フィダン・ドアンと会っていたとの発言を批判したことを受けて）、バフチェリ MHP 党首は、「エルドアン首相もテロ組織の首領と面会し、独房の中でテレビを見られるようにして、政治の輪の中に引き込み、特別な世話をしているではないか。我々（仏）がオジャランと会っていたことにケチをつけるのか」との問いに対して、エルドアン首相はどう答えるのかと発言。（1 月 14 日付 HT 紙）

(5) 葬式はディヤルバクルで
暗殺された PKK 幹部 3 名の葬式は 16 日夕、トルコ南東部でクルド人居住地であるディヤルバクルで執り行われる予定。BDP 議員はの一人は、参列者が多くなれば、イムラル和平プロセスへ影響がありうると発言。（1 月 15 日付 H 紙 16 面）

(6) CHP 党首、PKK 幹部家族を吊問した議員に言及

中国を訪問中のクルチダルオール CHP 党首は、昨年 PKK により誘拐されたフセイン・アイギュン CHP 議員（トルコ南東部トウンジェリ選出）が、パリで暗殺されたサキネ・ジャンズズの家族を吊問したことを受けて、政党の規則・原則を遵守して、責任ある行動をとる必要があると説明。（1 月 15 日付 HT 紙 17 面）

(7) PKK が所有するヨーロッパ放送の一局である Nuce TV においてドウラン・カルカン PKK 幹部は、イラク北部の山岳地域にあるカンディルの PKK 現リーダー、ムラット・カラユランが新たに暗殺対象となる可能性があると言及。（1 月 15 日付 HT 紙）

(8) トウルク議員、イランを疑う
先週、イムラル島のオジャランと面会したアフメット・トウルク議員は、「トルコがクルド問題を解決したら、トルコがこの地域で唯一のグローバル・パワーとなることになり、それを望まないイランが暗殺事件を行った可能性がある。シリアとイランの諜報関係が連携して動くだろう。」と発言。（1 月 16 日付 HT 紙）

(9) オジャラン、弟と面会
オジャランの弟であるメフメット・オジャランは、14 日、イムラル島で服役中のオジャランと面会し、オジャランは、パリの暗殺事件を非難し、話題となっている独房へのテレビ設置については、望んでいないのに、刑務所長の説得により設置されることになったと述べた。設置されたテレビは、42 インチで 12 番組が視聴可能。（1 月 15 日付 H 紙 24 面）

(10) イムラル島の面会、今後録画も可能に
15 日に法務省が国会に提出した法案によると、イムラル島で服役中のオジャランと面会訪問者との様子は、今後録画することが法的に可能となる。現在は刑務所では電話の会話を聴くことは可能だが、訪問者や弁護士との面会を聴いたり、録画することは出来ない。現行法律にあるとおり、面会で話されたことは公表できないが、今後、弁護士との

面会は、安全の観点から見える形式で実施継続となる。(1月16日付HT紙16面)

(11) PKK は、ヨーロッパで年間 2,000 万ユーロの資金を調達

トルコ検察当局は、2010 年にベルギーにおいて行われた捜査で押収された資料を精査した結果、PKK が毎年ヨーロッパで調達した 2,000 万ユーロの資金（ドイツが 600 万ユーロで第一位）のうち、1,200 万ユーロをデンマーク所在のロジテレビ会社（クルド語専門放送局）へ、500 万ユーロを PKK のキャンプがある北イラク所在のカンディル山脈へ、残り 300 万ユーロをヨーロッパの各 PKK 支部へ分配されていた事実を把握。

また、2010 年にヨーロッパの財務管理責任者をドイツ当局が逮捕した際の押収資料から、ヨーロッパでの資金の流れ及び資金提供者リストの存在が明らかになるとともに、同資金が、犯罪歴のない者をクーリエ役にしたり、30 万～50 万ユーロの現金をドイツやベルギーからバクダードやエルビルの空港まで運ばせた後に、同所で現金の引き渡しを受けた他の PKK メンバーがさらにカンディル山脈まで運んでいた事実も判明。

(12) 【インタビュー：アクトアン首相顧問】

政府と PKK の交渉プロセスにおいて、クルド問題は交渉事案ではなく、あくまでも PKK の武装放棄が問題となっている。この交渉プロセスは 1～2 年はかかると恐れ、新憲法とは別問題であり、新憲法起草はあと数ヶ月で終わる予定。(1月14日付 HDN 紙)

(13) 【参考論調：3 人を暗殺したのは誰か】

暗殺されたサキネ・ジャンズズは 1978 年の PKK 創立メンバーの一人で、何十万人ものクルド系トルコ人が居住するドイツにおいて資金や要員の調達を担当していたが、最近ではフランスも担当していた。イラク北部カンディルの PKK 現リーダー、ムラット・カラユランに忠誠を誓っていることで知られていた。また、フィダン・ドアンは、クルド国民議会のフランス支部長だったが、レイラ・ソイレメズはあまり知られていない。PKK リーダーのカラユランは、PKK の中でも過激派で知られるシリア出身クルド人のバホズ・エルダルと過去問題があったことで知られている。10 日のパリ暗殺事件後、すぐ反応したのは、PKK メンバーリスト上位にいるズベイル・アイダル（ブラッセル拠点に活動）で、失敗した 2009～2011 年のオスロ・プロセスの際、MIT との対話に参加していた。(1月11日付 HDN 紙)

(14) 【参考論調：BDP をどう見るか】

エルドアン首相が BDP に厳しいのは、これまで南東部で BDP が AKP を負かしてきたという事実を受け入れ難いからである。今日、南東部の大部分の市や郡の自治体は BDP 系であり、2009 年の地方選挙では同党は 230 万票を獲得している。最近のオジャランを含めた交渉プロセスが成功するためには、プロセスの当事者である BDP と同党へ投票したクルド系市民の扱い方こそが重要。(1月11日付 Sedat Ergin 氏、HDN 紙)

(15) 【参考論調：クルド問題の十字路】

15 日の国会での AKP 党会合で、エルドアン首相は初めて、トルコ政府とイムラル島服役中のオジャランとの対話を「和平プロセス」と呼んだ。これは、明らかな用語変更であり、トルコがクルド問題の平和的解決を求めて十字路に差し掛かっていることの印である。(1月16日付 Murat Yetkin 氏、HDN 紙)

●憲法裁判所、MIT の捜査について判決

昨年、ハカン・フィダン MIT 長官が KCK 捜査で召喚されたことに関し、こうした事態を避けるべく政府が MIT 法修正案を提出していた。それによると、MIT 関係者を裁判にかけるためには、首相府の許可が条件となっていた。検察はフィダン長官の捜査許可を首相府に要請したが、許可は下りず、その後、野党 CHP は修正案を葬るために憲法裁判所に訴え、憲法裁判所が同法案の扱いを検討し、1月17日に判断が下される見込み。

同裁判所が、(i) 修正案を差し戻す場合は、今後、MIT 関係者は首相府の許可なく捜査が可能となり、逆に(ii) CHP の訴えを却下した場合には、MIT 関係者の捜査のために首相府の許可を申請しなくてはならなくなる。(1月14日付 HT 紙 16 面)

●現閣僚の市長候補は？

3 期目の現閣僚が 2014 年 3 月の地方選挙に出馬するとの噂がささやかれている。それによると、パウシュ EU 相がイスタンブール大市長、ユルドウム・エネルギー大臣がイズミル市長、ババジャン副首相がアンカラ市長、エルギン産業貿易大臣がコジャエリ市長となっている。(1月14日付 HDN 紙)

【要人の訪問日程】

1. エルドアン首相、1月6～11日、ガボン、ニジェール、セネガル訪問へ。
2. クルチダルオール CHP 党首、1月18日まで訪中。

【シリア情勢関連】

(1) トルコへのシリア人避難民数：15 万 3324 名 (1月11日現在) (トルコ首相府緊急災害対応総局 (AFAD) のウェブサイト)。

(2) 国際社会の支援は不十分

ジョージ・サブラ・シリア国民連合 (SOC) 副議長兼シリア国民評議会 (SNC) 議長は、(i) 先月モロッコにて開催されたシリア・フレンズ会合において、サウジアラビア、UAE、ヨーロッパ諸国による支援約束にも関わらず、人道的支援と武器支援は、シリア国民のニーズを満たしていない、(ii) シリアで続く虐殺の中で、国民は武器を持って自己防衛する権利がある、(iii) ヨルダンの避難民キャンプの状況はひどく、夏は水がなく冬は凍てつき、避難民はアサド体制と避難民キャンプという二重苦の中にいる、(iv) トルコ政府の人道的支援に感謝すると述べた。

国連によると、シリア近隣諸国及び北アフリカにいる難民登録数は先月中 10 万人以上の増加し、合計 60 万人に達する。内、ヨルダンへの避難民数は 17 万 6600 人とされる一方、ヨルダン政府は 28 万人としている。(1月14日付 HDN 紙 4 面)

(3) シリアへプレハブ住宅の寄贈

デニスフェデリ協会北アナトリア支部は、48 戸のプレハブ住宅 (1 戸：14 m²) をシリアへ寄贈。「シリアに毛布とパンを」運動の一環と発表。同協会はソファー、毛布、暖房、食料等についても今後提供予定。(1月16日付 AA)

●信頼・満足度調査：大統領府、軍、警察

本調査は MetroPoll 戦略社会研究所が、2012 年 9 月 26 日～12 月 1 日の期間、無作為抽出により 1202 人を対象に電話調査したもの (最大 10 ポイント)。(1月15日付 TZ 紙インターネット版)

信頼度	2011年12月	今回調査
大統領府	8 th イント	7.6 th イント
軍	7.7 th イント	7.5 th イント
警察	7.6 th イント	7.3 th イント
首相府	7.4 th イント	6.8 th イント
国会	7.1 th イント	6.5 th イント
メディア	5.2 th イント	5.1 th イント
満足度	今回調査	
人生に満足	52.2%	
人生に不満足	27%	

【日刊新聞購買数の推移】

Daily	Price	Copies sold	Last week	Change
ZAMAN	0,50 TL	1,089,183	1,106,131	-16,948
POSTA	0,50 TL	545,331	481,842	63,489
HÜRRİYET	0,60 TL	447,006	422,751	24,255
SABAH	0,50 TL	384,634	342,422	42,212
SÖZCÜ	0,40 TL	292,488	286,607	5,881
HABER TÜRK	0,50 TL	213,894	188,445	25,449
PAS FOTOMAC	0,50 TL	188,352	178,034	10,318
MILLİYET	0,50 TL	183,353	176,217	7,136
FANATİK	0,50 TL	174,249	165,808	8,440
TÜRKİYE	0,50 TL	168,585	154,688	13,897
STAR	0,50 TL	146,659	123,425	23,234
VATAN	0,50 TL	130,902	126,352	4,550
TAKVİM	0,40 TL	128,510	109,606	18,905
AKSAM	0,50 TL	114,686	104,522	10,164
BUGÜN	0,50 TL	112,798	106,761	6,036
YENİ SAFAK	0,50 TL	101,785	101,384	401
GÖNES	0,40 TL	98,519	92,098	6,421
ANKA	0,25 TL	77,749	69,628	8,122
TARAF	0,50 TL	67,301	64,290	3,010
AYDINLIK	0,50 TL	61,039	60,284	754
YENİ AKİT	0,60 TL	60,048	60,297	-249
DÜNYA	2,25 TL	57,144	57,085	59
YENİ ASYA	0,75 TL	51,335	51,428	-93
YENİÇAĞ	0,50 TL	51,146	51,029	118
CUMHURİYET	1,00 TL	50,465	52,689	-2,224
YENİ MESAJ	0,25 TL	49,320	42,453	6,867
SOK	0,50 TL	46,172	60,418	-14,246
MILLİ GAZETE	0,70 TL	32,201	32,260	-59
SOL GAZETESİ	0,50 TL	27,399	27,152	247
RADİKAL	0,75 TL	24,916	24,358	558
MILAT	0,60 TL	10,919	10,808	111
TODAY'S ZAMAN	1,50 TL	10,438	10,562	-124
BİRGÜN	1,00 TL	7,206	7,326	-120
ORTADOĞU	0,50 TL	6,310	6,192	118
G. EVRENSEL	0,45 TL	6,180	8,808	-2,628
H. DAILY NEWS	2,00 TL	4,883	4,905	-22
HÜRSES	0,25 TL	2,137	2,126	11
Total		5,225,241	4,971,190	254,051

Source: Yay-sat, Turkuvaz

2. 軍事

●パトリオットの配備

10日、イスタンブール商工会議所（ITO）の会議において、ダーヴトオール外相は、以下のとおり発言。

- ・パトリオット配備は、シリア政権側だけでなくシリアの他のどのようなグループからのミサイルであってもトルコを守るために対応する。
- ・イランへの対応ではない。
- ・パトリオットは、トルコへの脅威がなくなれば直ちに撤収される。
- ・イラン外相がトルコ外相と話をした後、シリア政権側に収監された2,000名以上のシリア人と引き換え

に、シリア反政府軍は、巡礼者とされている48名のイラン人を解放。

- ・我々はシリア国民側に立っている。また、2年前に国連安保理が制裁を決定した際、トルコはイラン寄りの姿勢を示したではないか。（1月11日付HD紙4面）

13日、ドイツ軍の先遣隊がカフラマンマラシュにおいてパトリオット配備にかかる調査を継続中。（1月14日付付AA）

14日、NATOの発表によると、各国のパトリオットミサイルは2月初旬に運用開始予定。（1月15日付HD紙4面）

14日、Saadet党（至福党）ムスタファ・カマラク党首は、1月20日に南東部イスケンダルにおいて、パトリオット配備に対する反対集会を開催すると発表。

【Saadet party:至福党】

2001年7月20日 RP（美德党）がSaadet党（よりイスラム色の強いグループ）とAKP（公正発展党：現与党）に分裂したことにより誕生

2002年 国会議員選挙において、支持票がAKPに流れ、国会議員数ゼロとなる。

2004年 トルコ国内各市の選挙において、4.77%を獲得し、Saadet系市長63名が誕生。

2007年 国会議員選挙において、国会議員を選出できず敗退。

2011年 国会議員選挙において、国会議員を選出できず敗退。



【参考：パトリオットの配備場所（NATO発表）】

ドイツ保有パトリオット：カフラマンマラシュ

米国保有パトリオット：ガーズィアンテップ

オランダ保有パトリオット：アダナ

【参考：パトリオット配備に関するイラン政府の見解（1月7日付HD紙インターネット版）】

イラン外務省 Ramin Mehmanparast 報道官発言

パトリオットミサイルのトルコへの配備目的は、イスラエルをイランの脅威から保護すること。トルコ当局が、イスラム圏を攻撃するためにトルコ空域を使用する許可を出すことはないとしている。また、今回設置されるパトリオットミサイルは、トルコ当局の指揮下にない。

●参謀総長が NATO 本部で会合

16日、ネジデット・オゼル参謀総長が NATO 本部にて会合に出席。NATO 軍の世界的な運用について議論。（1月17日付H紙22面）

●トルコ、アゼルバイジャン、カザフスタン軍、合同訓練
アゼルバイジャンの報道によると、トルコ、アゼルバイジャン、カザフスタンの各軍が今年、訓練名「アナドル」（アナトリアの意味）として共同軍事訓練を実施予定。（1月11日付HD紙4面）

●スィリプリ裁判所でジャーナリストが抗議活動

10日（ジャーナリストの日）、ジャーナリストらが、エルゲネコン事件の裁判を担当しているスィリプリの裁判所に集結し、抗議活動を実施。欧州記者連盟ソネル・ヤルチ

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。

ン代表が裁判が不公正だと発言。現在記者 70 名が刑務所に収監中、4 年間で記者 120 名が刑務所から出所。(1 月 11 日付 C 紙 1 面)

【参考：エルゲネコン】

政府転覆計画または対象となる裁判の名称である「エルゲネコン」プロセスにおいて、2003 年～2004 年の間に政府転覆計画に関与したとされる軍人、警察官、新聞記者、大学教授、野党政治家等約 400 名が裁判中。「エルゲネコン」とは、次に打って出るために中央アジアのトルコ系民族が一時期退避した伝説の谷の名称。

●MHP 副代表がスィリブリ裁判所で元参謀総長に面会

1 月 14 日、野党 MHP (民族主義者行動党) バフチェリ党首は、スィリブリ刑務所のイルケル・バスパー元参謀総長等と面会。同党主によると、同元参謀総長は、出所したとしても、PKK のようなテロリストグループと同じように扱われるのであれば、一生監獄のほうがましだと発言。(1 月 15 日付 HD 紙 6 面)

●ハッカリでの兵士死亡事件に関する検察の求刑

2009 年南東部ハッカリ県チュクルジャ (イラク国境付近) において、物資運搬中の兵士 7 名が地雷により死亡した事件につき、軍法裁判の検事は、当時チュクルジャで責任者であったゼキ・エス准将を懲役 25 年 6 ヶ月及び軍からの辞職を求刑した。(1 月 17 日付 H 紙 25 面)

●徴兵免除の法案、国会国防委員会で可決

与党 AKP イスタンブール支部ブュレント・トゥラン副代表は、国会国防委員会にて一定額の支払いにより徴兵が免除となる法案が可決されたと発表。様々な理由で徴兵されていない 31 歳以上の者は、3 万トルコリラの支払いにより、兵役が免除される。野党 CHP は、年齢をより下げて、支払金の減額を要請していたが、結果として AKP 側の原案どおりとなった。(1 月 11 日付 H 紙 24 面)

【参考：トルコの徴兵制度】

大卒男性は、18 ヶ月の士官勤務 (有給) または半年の兵士勤務 (ほぼ無給) を選択可能。

高卒男性は、18 ヶ月の兵士勤務 (ほぼ無給) のみ。

●米軍が小モスクガラスを破壊？

アダナの現地新聞によると、昨年 12 月 31 日夜、南東部アダナのインジュラリック空軍基地近くの Masjid (メスジッド：イスラム教の小集会所、モスクより小さい) が米兵に襲撃され、窓ガラスが破損、聖典コーランが破られたと報じた。1 月 10 日、軍参謀本部は、数枚の窓ガラスが破壊された事実はあるも、実行犯は分からず、コーランが破られた事実はないと発表。フセイン・アヴニ・コスアダナ県知事は、捜査を実施中であるが、まだ結果が判明していないと発表。(1 月 11 日付 Z 紙インターネット版)

●トルコ軍が新型水陸両用戦車を開発

陸軍アフメット・フドゥティ少将が率いる補給部へ、新型水陸両用戦車 (AZMIM アズミム：困難を乗り越えること) が配備された。軍は今後 12 式を製造予定。2003 年には 25% だった国産軍事品装備率は、現在 54% に増加している。(1 月 14 日付 H 紙 10 面)



●イムラル島の警備を軍警察から法務省へ

PKK リーダーのアブドラオジャランを収監しているイムラル島刑務所警備について、1 月 15 日、与党 AKP (公正発展党) メフメット・アリ・シャイン副議長は、現在の軍警察 (ジャンダルマ) ではなく、法務省傘下の刑務官が担当するようになると発言。(1 月 16 日付 A 紙 10 面)

【参考：イムラル島】

マルマラ海南東部の小島、島の長さ約 6km、面積 9.9 平方 km

現在オジャランの他 8 名の犯罪者が収監されている刑務所、オジャランの監獄と 8 名の監獄は別建造物で、軍警察が外周警備を、刑務官が内部警備を担当している。

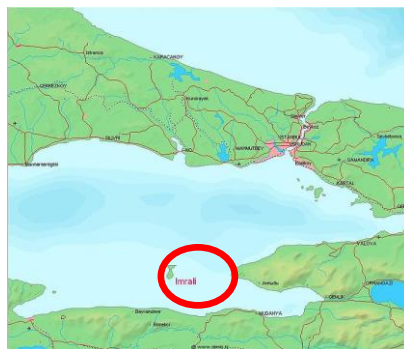
《イムラル島の歴史》

1935 年 服役囚が一定時間、農業等に従事するトルコ初の部分開放型刑務所として開所。50 名程度が服役。

1961 年 クーデターにより拘束された、当時のアドゥナン・メンデレス首相、ファーティン・ルシュトゥゾール外務大臣、ハサン・ポラットカン財務大臣がイムラル島で絞首刑となる。3 名の遺体は、29 年間イムラル島に留め置かれた後、イスタンブールへ移送。その後、部分開放型刑務所として服役囚は、農業、石けん・缶・ビンの製造工場で労働。

1999 年 当時 PKK 首領のオジャランが収監された後、他の服役囚は別刑務所へ移動。

2009 年 8 名の犯罪者がオジャランとは別の建造物に収監される。



●イスラエル、謝罪の手紙を送付する準備あり

2010 年 5 月、トルコ民間人 9 名がイスラエル軍により殺害されて以後 (マーヴィー・マルマラ号事件)、トルコ・イスラエルの関係が悪化している件に関し、イスラエル外務省ダニエル・アーヤロン副大臣は、以下のとおり発言。

・米国は、米軍が誤ってパキスタン兵 24 名を殺害した際、パキスタンに書簡を送付した。

・イスラエルは、米軍がパキスタン兵士 24 名を殺害した際、米国からパキスタンに送付した手紙に近いものをトルコに対して送付する準備あり。

(1 月 17 日付 HD 紙 4 面)

【マーヴィー・マルマラ号事件】

2010 年 5 月 31 日、ガザに支援物資を運搬するため地中海を航行していたマーヴィー・マルマラ号が、イスラエル軍の急襲を受け、民間人 9 名 (トルコ人 8 名、アメリカ国籍トルコ人 1 名) が殺害された事件。

《マーヴィー・マルマラ号》

・1994 年トルコ建造、全長 93m、幅 20m、コモロ連合

(マダカスカ共和国の北西) 船籍。

《経緯》

- ・2010年、トルコの人権保護団体 IHH がマーヴィー・マルマラ号を80万ドルで購入。
- ・2010年当時、イスラエル政府により封鎖されていたガザへの支援を IHH が表明。計32国から663名が支援船6隻に分乗してガザへの支援物資を運搬することに。
- ・2010年5月27日、マーヴィー・マルマラ号は560名を乗せトルコを出発。キプロスの南30海里で他5隻と合流し、ガザを目指す。
- ・5月30日、イスラエル軍からガザではなく、アシュドッド(イスラエルの港)へ向かうよう船団に向け連絡があったが従わず。
- ・5月31日、イスラエル軍が小型ボートとヘリコプターにより急襲。マーヴィー・マルマラ号以外の5隻は主に支援物資のみを運搬していたので、操船コントロールは容易にイスラエル軍へ移り、アシュドッド港へ。しかし、マーヴィー・マルマラ号には560名の乗客(ドイツ、スイス、クウェート等の国会議員、各国の報道関係者等多数含む)がおり、抵抗者も発生。民間人9名(トルコ人8名、アメリカ国籍トルコ人1名)が殺害。民間人54名が負傷、イスラエル兵10名も負傷。マーヴィー・マルマラ号もアシュドッド港へ移動。
- ・8月7日、イスラエルがマーヴィー・マルマラ号を解放。
- ・後日、トルコ南東部イスケンデル港でトルコ当局による調査開始。トルコ当局の調査によると、約250の銃弾痕が認められ、多くは塗装等により補修されていた。

3. 経済

●輸出企業に対して税関の権限付与へ

今後、税関業務の権限を付与されたトルコ企業は、自社集荷工場で税関手続きを行うことが可能となり、これにより5億ドルの節約が見込まれる。このシステムは、EU、米国、日本、韓国では既に取り入れられているもの。(1月11日付H紙)

●トルコ企業、トルクメニスタンの空港建設工事受注

トルコの建設企業 Polimeks 社は、トルクメニスタンの首都アシカバード空港の建設工事を受注し、総建設費用は22億5000万ドル、雇用創出は2万人、2016年までの工事完了を予定。トルコ企業が海外で受注した中で最大建設プロジェクト。(1月12日付H紙)

●ヘーゼルナッツ油、日本で石けんに

Neva 食品社のスハ・エルソイ社長によると、同社は日本企業とヘーゼルナッツ油の取引を始めるべく、日本側で同製品の品質チェックは既に終了しており、20ℓの試品を日本に送付した。日本企業は、ヘーゼルナッツ油から石けんを生産予定。(1月14日付H紙)

【今週のコラム】

●トルコに原発は必要か？

トルコのエネルギー政策には、楽観的シナリオと悲観的シナリオの二点があるが、共通しているのは、2017年にはトルコの電力生産量が電力需要を満たせないという点である。

アックク(地中海沿岸東部)の第一原発はロシア企業が受注し、2020年に完成予定といわれているが、いつ建設が開始されるか未だ不明であり、これはそもそもトルコはロシア企業から電力を買う仕組み。実はトルコの電力購入額は、ロシアの原発費用よりも安価となる。それでは、原発費用を安く抑えるために、一体どこから支出を抑えるのだろうか。トルコは原発に使用されるコンクリートの品質からその厚みまで、特に注意深く、監査しなくてはならない。(1月12日付 Ismet Berkan 氏、H紙)

●ブルサで9億トンの大理石埋蔵

ブルサ県オルハーネリ郡バシユキョイーエレンレルーダークチャ鉱区でトルコの大埋蔵量の80%に相当する、9億トンの大理石(1050億ドル相当)が埋蔵されていることが調査により判明。MADSIAD(鉱物大理石生産実業家協会)会員は、今後の国の経済的効果が期待されるとした。トルコの大埋蔵量は現在25万人、19億ドル相当を輸出、2023年には従事者80万人、70億ドルの輸出を目標としている。(1月14日付H紙10面)

●天然ガス使用量、史上最大に

先週の寒波により、天然ガス使用量が1億8700万 m^3 /日(昨年同月は1億7000万 m^3 /日)となり、共和国史上、最大の使用量を記録。使用量の内、5分の1はイスタンブールで消費されている。トルコは、アルジェリアとナイジェリアからも天然ガスを輸入しており、先日ユルドゥズ・エネルギー天然資源大臣がアルジェリアを訪問した際には、天然ガス購入契約を10年延長。(1月14日付HT紙インターネット版)

●トルコの2012年輸出総額は1510億ドル

トルコ全体の2012年輸出総額は1510億ドルとなり、県毎にみると、イスタンブール県の輸出額610億ドルがトップ(昨年比3.4%増)。同県の輸出額の内、121億ドルは既製服と紡織が占める。また、同県の最大輸出先はドイツで62億ドルの取引。(1月14日付HT紙インターネット版)

●「e-処方箋」が始まる

昨年7月以降、一部導入開始されていた「e-処方箋」システムが本格的に開始された。e-処方箋システムでは、患者は診察を受けた医師から6桁のパスワードをもらい、そのパスワードを持って薬局で薬を処方してもらう。これまで医師10万7000人がe-処方箋を処方するためのパスワードを取得し、今日までに処方箋の65%はe-処方箋に移行されていた。(1月15日付HT紙9面)

●Tulomsaş社、GEと共同で列車製造

Tulomsaş社は、今後、General Elektrik(GE)社と共同で世界において最良の列車車両に属する、「PowerHaul」機種を製造予定。今後2年間でトルコ国鉄用に20台、輸出用に30台、合計50台を生産する。年間50~100台の列車製造を計画しており、内70台を輸出し15億ドルの収入を見込んでいる。(1月15日付HT紙3面)

●トルコの年間靴購入数は2.5足

トルコの靴製造業者ズィラン・グループによると、トルコ人年間購靴平均数は2.5足。ヨーロッパでは年間平均5.5足、米国では7足。2012年の靴販売総額は、32億ユーロ、内、42%は婦人靴、41%は紳士靴、17%は子ども靴。また、一人当たりの靴の年間購入費用は、ヨーロッパは143.9ドルであるのに対し、トルコはわずか59ドルで、ブルガリアやハンガリー、ルーマニアの東欧諸国に近く、年間330.4ドルを靴にかけるノルウェーのような先進国から程遠い。トルコの平均年齢は29.4歳で、2010年~2050年の間に60

歳以上の人口は 660 万人から 2380 万人へ増加することから、小売業者はこの点を勘案すべきと強調。(1月15日付 HDN 紙 11 面)

●繊維産業

トルコでは繊維輸出産業がさかんであるが、コットンの使用量が多いことから輸入量が増加しており、コットンと関連製品分野で 90 億ドルの貿易赤字を出している。トルコは中国に次いで世界第二位のコットン輸入国。トルコは、2012 年の 10 カ月間、コットンを 1kg 当たり 2.13 ドルで購入、1.69 ドルで販売しており、このことも貿易赤字に影響を与えている。(1月15日付 HDN 紙)

●シリア関連追加支出が財政赤字に影響

シムシェキ財務大臣によると、2012 年の財政赤字は 288 億 TL (@52 円) であり、12 月の道路建設の請負業者への支払い、及びシリア避難民用に AFAD (首相府緊急事態対応局) に対する 50 億 TL の追加支出が財政赤字に大きく影響を与えた。(1月16日付 HT 紙)

●2012 年 10 月の失業率 9.1%

TUIK (トルコ統計局) の発表では、2012 年 10 月の失業率は 9.1%。農業部門を除いた失業率は 11.4%。同月の新たな失業者数は 8 万 7000 人で、合計失業者数は 254 万人。(1月16日付 M 紙 10 面)

失業率の推移	
1月	10,2
2月	10,4
3月	9,9
4月	9,0
5月	8,2
6月	8,0
7月	8,4
8月	8,8
9月	9,1
10月	9,1

●トルコ人の貯蓄に関する意識調査

ING 銀行が行った貯蓄に関する調査 (2011 年 10 月～2012 年 9 月、9600 人対象) によると、トルコ人の貯蓄に関する意識調査結果は以下のとおり。また、貯蓄傾向にある人々の平均月収は 2000～4000 リラ。(1月16日付 C 紙 11 面)

貯蓄がない理由は？	
・ 収入が不十分	58%
・ 貯蓄は不要	26%
・ 理由は不明	16%
貯蓄はあるか？	
・ ある	45.3%
・ ないが計画中	43.2%
・ ない・計画もなし	11.5%
貯蓄の手段？	
・ 金	34.7%
・ リラ定期預金	27.7%
・ 普通預金	17.5%
・ 個人年金投資	6.7%
・ 外貨預金	5.8%
・ 株式	3%

●トルコと北イラクの経済統合

(1) 成長中のトルコは、多くのエネルギーを必要としており、北イラク・クルド地域政府はトルコのエネルギー需要を満たすための最善の選択肢。トルコは北イラク地域における石油や天然ガスを非常に重要視しており、北イラクは今後 10～15 年間に生産量を増加させ、イラクのスニー派及びクルド人地域に対して石油 300 万バレル、天然ガス 200 億 m³ 輸出が可能となるかもしれない。

(2) トルコは、ロシアからの天然ガスを \$400/m³、イランからの天然ガスを \$500/m³ で購入している中、北イラクの天然ガスは \$300/m³ となる見込み。トルコは 2011 年にエネルギー購入に 540 億ドルを費やし、今年は 600 億ドルが見込まれる。Genel Energy 社セピル氏によると、(i) トルコの経常収支赤字の 70% は、エネルギー輸入に起因するものであり、(ii) トルコの急速な成長及び持続可能な経済発展にとっての最大の障害はエネルギーであることから、隣国からのエネルギー供給によっては、トルコは今後数年で非常に有利な地位に立つことになる。あるアナリストによると、米国はトルコがエネルギー面で北イラク・クルド地域政府に接近していることを懸念して、同地域政府がトルコを経由して世界中に石油を輸出することに対しては否定的な反応を示しており、イラクの分離を招く可能性もあるとしている。(1月11日付 TZ 紙 5 面)

●イスタンブール第三空港の入札条件

トルコの建設企業リマック投資グループのエブル・オズデミル社長によると、イスタンブールに建設予定の第三空港の入札条件が数週間内に発表される予定 (総額 87 億ドル、工期 4 年間との報道もある)。第三空港は当初乗客 9000 万人の想定であったが、現在の計画では 1 億 5000 万人、滑走路 3 本の構想に拡大変更。同社長は、同社が 40% のオペレーション・シェアを有するイスタンブール第二空港のサビハ・ギョクチェン空港にて、今年中に乗客 20% の増加 (昨年 1490 万人、今年は 1800 万人) を見込んでいる。第二空港の、インドの GMR インフラストラクチャー社とマレーシア空港グループも第二空港オペレーションに関与しており、今年第二滑走路も同社により建設される予定。トルコ航空は 217 の場所にフライトを運航しているが、そのうちいくつかを第二空港に移す見込み。また、エルドアン首相は「イスタンブール運河プロジェクト」の入札についても言及し、入札は今年の第一四半期に行われるとされる。(1月15日付 HDN 紙 10 面)

【注】イスタンブール運河プロジェクト：イスタンブールのヨーロッパ側にマルマラ海と黒海をつなぐ 45～50km の運河を建設する構想

●トルコ、天然資源の確保を模索

トルコは、他のヨーロッパ諸国よりも積極的に石油及び天然ガス探査を進めている。FirstEnergy' s Engels によると、トルコは 2010 年に 3 億 700 万バレルの石油とガスを備蓄しており、内 88% は石油。2011 年の石油消費量は 2 億 5800 万バレルの内 92% は輸入、天然ガスの 98% も輸入された。トルコの 2012 年に 230 万トンの石油を生産し、国内生産量 4 万 4000 バレル/日は、国内消費量全体の 8% を賄っていた。他方、ノルウェーの石油生産量は 200 万バレル/日 (2011 年)、ロシアの石油生産量は 1000 万バレル/日。TPAO (トルコ石油公団) はこれまで国内の油田やガス田の探査・掘削を担ってきたが、外国企業は TPAO の規則に基づく事業に大分不満を有しており、今後は法律変更されて TPAO はその他の企業と同様の扱いになる見込み。(1月15日付 IHT 紙)

●イランの金取引

銀行関係者によると、トルコがイランとの間で天然ガス支払いのために金取引を行っていることに対する米国の圧力にも関わらず、トルコの銀行は金の取引を継続。先週、チャーラヤン経済大臣は、イランとの金取引は継続されており、金取引は経済制裁とは関係なく、完全に民間会社で行われていたとした。トルコの銀行関係者によると、イランはトルコの銀行システムを通じて金を取引しておらず、民間会社がイランに金を売っていると述べた。トルコでは銀行間での金取引はほとんど行われておらず、中央銀行が民間会社に金とドルの交換を認めているので、イランはドルを金に交換している。トルコは、エネルギー輸入の比重が大きく、イランは天然ガスの最大購入先であり、イランの天然ガスの90%を輸入している（年間100億m³の25年契約）。（1月15日付IHT紙）

●2013年は民営化の年に

シムシェッキ財務大臣は、Bloomberg番組3周年記念行事に出席し、2013年は民営化の記録的な年になるとして、具体的にはアンカラとイスタンブールの各ガス供給公社であるBaşkentgazとİGDAŞ、また宝くじ公社に言及。（1月17日付HT紙8面）

●TÜSIAD次期会長は、スタシュ会長ユルマズ氏に

17日にTÜSIADの次期会長選挙が実施予定で、候補者は一名で、スタシュ会長のムハレム・ユルマズ氏が次期会長に就任予定。次期役員会は、アナトリア資本と呼ばれるカイセリやキュタフヤ、シュルナック出身の企業家らが中心となって運営される予定。（1月17日付HT紙9面）

4. 治安

●治安当局による対PKK作戦等

13日、警察は、マルディン県において、PKK関連場所を自宅捜索中の銃撃戦で同幹部1名を殺害。捜索中、同所にPKK支援者が集まり一時騒然としたが、警察部隊が催涙ガスにより解散させた。（1月13日付AA）

殺害された同幹部の名前はアキム（本名：メフメット・シリン・ジェベ）で、パホズ・エルダルの部下として当地実行部隊を指揮していた。（1月15日付C紙7面）

【注】パホズ・エルダル：本名フェフマン・フセイン。シリアを拠点にトルコ国内でテロ活動を行うPKK武闘派リーダー。シリアで医学を学んだ経歴を持ち、別名“ドクター”とも呼ばれる。

13日、警察は、シュルナク県でPKKメンバー7名を投降させた。（1月14日付AA）

●マルディン県で警察官1名殺害

16日、マルディン県で、病院を警戒中の警察車両が銃撃され、警察官1名が死亡。（1月16日付AA）

●バイラムパシャ市で爆弾未遂事件発生

11日2時頃、バイラムパシャ市において、道路清掃員が駐車中の車両の下に不審物件を発見。通報により現場に駆けつけた警察の爆弾処理部隊により安全に処理。車両所有者は警察官で、爆弾設置場所周辺は警察官が多数居住。（1月11日付TZ紙インターネット版）

●ATM機スキミングにより、30万トルコリラ引き出す

イスタンブール県警は、銀行のATM機にスキミング装置を取り付けて電子データを抜き取り、背後に設置したカメラで客の暗証番号を盗み見る手法でクレジットカードを偽造し、30万トルコリラを引き出した6名の身柄を拘束。（1

月14日付AA）

●家庭内暴力が理由で、6,764名の女性を警察が保護

家族社会政策省は、6,764名の女性が家庭内暴力のために警察の保護下にあると発表。各県別ではアダナ県が1,605名で第一位、以下カイセリ県1,302名、コンヤ県が1,208名と続き、現在裁判所から5万182件の接近禁止命令が発出済み。また、ある調査機関は、2012年中に家庭内暴力で少なくとも165名の女性が死亡、210名の女性が負傷したと発表。（1月12日付TZ紙インターネット版）

●ナイジェリア人2名が詐欺容疑で身柄拘束

イスタンブール県警は、ナイジェリア人2名の、オランダ人会社員との間でのインターネットを通じた繊維製品購入に絡む詐欺容疑において身柄を拘束。同人らは偽札製造用の薬品等を所持。（1月12日付AA）

●エーゲ海で地震発生

エーゲ海において、12日22時50分にマグニチュード4.1、13日10時55分にマグニチュード5.0（チャナッカレで揺れを確認）及び19時54分にマグニチュード4.3の地震が2度発生。被害報告無し。（1月13日付AA）

●エディルネ県で密入国者の身柄を拘束

軍警察は、密入国者65名（国籍はパレスチナ、イラク、マリ、シリア、ミャンマー、パキスタン、ソマリア、コンゴ及びエリトリア）の身柄を拘束。（1月3日付AA）

●ロシアでクルド人武器商人が射殺

16日、ロシアのレストラン内で、デット・ハサン（本名：アスラン・ウサヤン）が射殺。76歳の同人は、ロシアからPKKへの武器供給に重要な役割を果たしていたとされる。（1月12日付TZ紙インターネット版）

5. 社会

●富士山、目覚める

日本で3世紀にわたって「眠っている」火山、富士山が2015年に噴火するのではないかとの見方が強まっている。

「Japan Today」紙によると、琉球大学のキムラ・マサアキ教授は、圧力の水準が去年より上昇していて噴火のレベルに近づいていることを明らかにした。（1月11日付HT紙6面）

●マルマライプロジェクトでまた墓が発見

マルマライプロジェクトの工事現場でまた新石器時代（8500年前）の墓が発見。前から見つかったのものとの関連も調査中。場所は（アジア側）ゲブゼーハイダルパシヤ間。（1月11日付DN紙1面）

●臓器移植を待つ1765人が死亡

トルコでは2012年に3,979件の臓器移植手術が行われたが1,765人は臓器移植を待つ間に死亡。脳死が確認された患者1477人のうち、たった345人の患者家族のみが臓器移植を了承した。（1月14日付HT紙21面）

●宮殿等への観光客誘致

2012年に宮殿等の訪問者数は、年間116万人。そのうち62.7万人が外国人で、その収入は2100万TL。最多訪問者数は、ドルマバフチェ宮殿で、27.1万人のトルコ人、52.7万人の外国人が訪問。（1月14日付DN紙8面）

●ユネスコ世界遺産の申請

ムーラ県南西部にある「アクヤカ」を、ユネスコ世界遺産として申請する準備に入った。イタリアのNGOが調べた結果を基に、申請の準備を行う。ユネスコ世界遺産に申請する理由は、生物の多様性と町の文化や歴史、自然保護のためとされる。（1月14日付TZ紙3面）

●ペット・ボトルの青いキャップ

トルコ脊髄障害者協会の会長は各地から集まったペット・ボトルのキャップの買取契約が終了したとし、「一カ月に集まるペット・ボトルのキャップの量は平均17トンに上る。その量は日毎に増加しているが、キャップを有料回収する企業を新しく見つけることが必要になった。」と述べた。バッテリー式の手椅子1台の値段は2700リラで、ペット・ボトルのキャップが平均1リラで販売されており、有料回収の契約が終了した企業が最小限の利益でキャップを買い取っていたと述べた。ペット・ボトルのキャップ、約2.5トンでバッテリー式の手椅子1台が購入でき、1ヶ月で平均7台を購入して手椅子を必要とする人に届けられていた。(1月14日付HT紙27面)

●ミニバスの運賃値上げ

イスタンブールのミニバス・ドルムシュ協会は、イスタンブールのほぼ全域で運賃を4.75%値上げしたと発表。短距離の最低運賃は1.5TLとなった。(1月15日付HT紙25面)

改訂後の運賃例

バクルキョイ	～	トプカブ	2,10 TL
イエニマハーレ	～	トプカブ	2,00 TL
ガズィオスマンパシャ	～	ジェヴィズリバー	1,90 TL
ベシクタシュ	～	サルイェル	2,20 TL
エサットパシャ	～	ウスキュダル	2,00 TL
カドウキョイ	～	ウナラン	2,00 TL
ウスキュダル	～	アタシェヒル	2,30 TL
セファキョイ	～	イエシルキョイ	1,80 TL
ボスタンジュ	～	サナイ・ドゥドゥル	2,10 TL

●トルコで出版された書籍数は2012年に3%減少

トルコで出版された書籍数は2012年に3%減少。2012年、出版書籍数は文部省が無料で配布した教科書も含めて約4億8000万冊。1人当たり約6.4冊になる計算。トルコで2012年に出版された書籍の種類は4万2,626種類。2012年は出版された書籍の種類の数から見ると前年比2%、出版数から見ると前年比3%減少。(1月15日付HT紙26面)

●アジア側のメトロ、トゥズラまで伸びる

大イスタンブール市はトゥズラの住民の強い要望を聞き入れ、地下鉄のカドウキョイ-カルタル線をトゥズラまで延長することを決定。マルマライ・プロジェクトで3線が乗り入れるトゥズラは、地下鉄が乗り入れることで混雑が緩和される見込み。(1月16日付HT紙25面)

●ミュージアムで新たな制限

文化観光省発行のミュージアム・カードは、今後1月1日以降の新規購入や更新後に、年に同じ博物館を年に複数回訪問出来なくなる。30TLで販売中のミュージアム・カード

は、従来1年間、登録されている全博物館や遺跡サイトへ自由に入場可能だった。ミュージアム・カードは2008年から累計360万枚販売され、2012年は84万3019枚が販売された。(1月16日付DN紙9面)

●リハビリ・センターに「待った」

民間のリハビリ・センターに対して政府が患者一人当たりにつき最低賃金の2倍の支援をするシステムを悪用し、患者を集めるリハビリ・センターがあるため、システムの見直しを迫られた。2012年5月よりリハビリ・センターの開設数は急増した一方、サービスの質が急激に低下したこと

を受け、リハビリ・センターの新規開設に待ったがかかった。2013年(1月16日付H紙10面)

●女性は「愛」でなく「お金」を希望

新年の祈願にあたり、商店150店、ショッピング・モール40店とFACEBOOKを通して「新年に何を期待するか」のアンケートが行われた。昨年「愛」を一番に挙げた女性の多くは、今年は「健康」を1位に選び、次いで2位「平和」、3位「教育」、4位「お金」、5位に「愛」を願った。昨年は「愛」、「お金」、「健康」、「教育」、「平和」の順だった。(1月16日付HT紙10面)

●トルコは、市民的自由の評価低下

米国のNGOフリーダム・ハウスが実施した世界年次自由度調査(1最良～7最悪)によると、トルコは政治的な権利については「3」に、市民の自由度については「4」。全体的に市民の自由が損なわれているのは、特に法の支配が弱く、汚職の土壤があるためとしている。(1月17日付DN紙5面)

注：本文中の略語は以下の通りです。

正式名称	略語	正式名称	略語
公正発展党	AKP	トルコ首相府緊急災害事態対応庁	AFAD
共和人民党	CHP	エネルギー市場監督庁	EPDK
民族主義行動党	MHP	防衛産業庁	SSM
民主党	DEP	銀行監督庁	BDDK
福祉党	RP	トルコ統計庁	TÜİK
平和と民主主義党	BDP	証券取引監査院	SPK
民主社会党	DTP	国家諜報機関	MİT
クルディスタン労働党	PKK	民主主義社会評議会	DTK
PKK関連組織	KCK	トルコ高等教育評議会	TYK
PKKの防衛隊	ÖSB	トルコ科学技術研究機構	TÜBİTAK
革命人民解放党/戦線	DHKP/C	黒海経済協力機構	BSEC
トルコ労働者・農民解放軍	TİKKO	ラジオ・テレビ高等機構	RTÜK
シリア民主主義連合党	PYD	経済外交政策センター	EDAM
シリア国民評議会	SNC	国家航空局	DHMI

正式名称	略語
トルコ航空・宇宙産業会社	TAI
トルコ集合住宅開発局	TOKİ
トルコ国鉄	TCDD
イスタンブール海上フェリー会社	İDO
トルコ銀行協会	TBB
トルコ投資家関係協会	TÜVİD
トルコ産業・実業家協会	TÜSİAD
トルコ商工業連合	TESK
イスタンブール商工会議所	İTO
イスタンブール産業会議所	İSO
トルコ石油精製会社	TÜPRAS
トルコ石油公団	TPAO
イスタンブール文化芸術財団	İKSV
人権・自由・人道的援助基金	İHH

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Cumhuriyet	C	Herald Tribune	IHE	Anadolu News Agency	AA
Hürriyet	H	The Daily News	DN	Agence France Presse	AFP
Vatan	V	Economist	EC	Cihan News Agency	CA
Akşam	A	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M	Hürriyet Daily News	HDN	Ihlas News Agency	IA
Sabah	S				
Radikal	R				
Zaman	Z				
Posta	P				
Haberturk	HT				
Taraf	T				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：212-317-4600

FAX：212-317-4604

E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新規で配信をご希望の方、配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。